

1. 件名：福島第一原子力発電所における環境線量低減対策に係る面談
2. 日時：令和4年8月23日（火）15：30～16：40
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者：
原子力規制庁 原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
横山係長、高木係長
東京電力ホールディングス株式会社（テレビ会議システムによる出席）
福島第一廃炉推進カンパニー
プロジェクトマネジメント室 担当2名
5. 要旨：
 - 東京電力ホールディングス株式会社より、福島第一原子力発電所における環境線量低減対策について、資料に基づき主に以下の説明があった。
 - 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果
 - ✓ 有意な変動は確認されなかった。
 - タービン建屋東側における地下水及び海水中の放射性物質濃度の状況
 - ✓ 有意な変動は確認されなかった。
 - 1、2号機取水口間地下水放射性物質濃度と降水量の推移
 - ✓ 有意な変動は確認されなかった。
 - 【参考】多核種除去設備等処理水の取扱いに関する海域モニタリング計画について
 - ✓ 有意な変動は確認されなかった。
 - 福島第一原子力発電所 D排水路の運用開始について
 - ✓ 大規模な降雨に備えてD排水路の本設工事を2021年2月から着手し、1～4号機建屋周辺の豪雨時の浸水リスク解消することとしている。
 - ✓ D排水路の主要排水路が完成したため、2022年8月末より通水を開始する予定であること。
 - ✓ 豪雨時の浸水リスク低減対策として、1／2号機開閉所周辺の法面排水工事を行いD排水路に接続するが、このエリアの周辺線量が高いため、D排水路へ放射線モニタ設置などの対策を実施することとしていること。
 - 原子力規制庁は、上記説明内容について確認し、東京電力に対し以下の点についてコメントした。
 - ✓ 現状、海域モニタリングにおいて平常値の変動範囲を把握した後、異常値を設定することとしているが、この異常値の設定については処理水の海洋放出前に余裕をもって規制庁へ説明すること。
 - ✓ 新たに設置される放射線モニタなどの監視対策について、詳細を説明すること。

6. その他

資料：

- 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果（2022年7月）
- 別紙 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量評価結果 2022年7月
- 評価分（詳細データ）
- 空气中放射性物質濃度の分析結果（1～4号機）
- 環境線量低減対策スケジュール
- タービン建屋東側における地下水及び海水中の放射性物質濃度の状況について
- 【参考】多核種除去設備等処理水の取扱いに関する海域モニタリング計画の状況について
- 福島第一原子力発電所 D排水路の運用開始（豪雨時の浸水リスク低減のため）

以上